

## 福祉サービス第三者評価の結果

令和元年 10 月 17 日提出（評価機関→推進委員会）



## 1 施設・事業所情報

## (1) 事業所概況

事業所名称 (施設名)	就労サポートセンターさつき	種 別	多機能型事業所		
代表者氏名 (管理者)	所長 須藤和彦	開 設 年月日	平成 24 年 8 月 20 日		
設置主体 (法人名称)	社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団	定 員	31	利用人数	26
所在地	青森県東津軽郡平内町大字茂浦字向田 24 番地				
連絡先電話	017-755-5113	F A X 電話	017-755-5117		
ホームページアドレス	<a href="http://www.syusapo.com/">http://www.syusapo.com/</a>				
第三者評価の受審状況	これまでの受審回数	受審履歴			
	0				

## (2) 基本情報 ※必要に応じて写真等追加可能

理念・基本方針	<理念> 地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います。	
	<基本方針> 1 障害のある方の「働きたい」を支援します。 2 利用者の皆様と職員が協調し、全員が成長できる組織になります。 3 変化には変化で対応し、サービスの提供を継続します。 4 小さな発想を大きく議論しあう、多角的な視点を持ちます。 5 まず実行することで信頼を得られる努力をします。 6 地域の伝統や産業と協調して地域活性化に貢献します。	
	サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
	就労移行支援事業、就労継続支援 A 型事業、就労継続支援 B 型事業、就労定着支援事業	・大運動会 ・大収穫祭
その他特徴的な取組	・月 2 回程度、土日曜日も開所し、仕事とのメリハリを体感させるため、地域でレクリエーション活動を実施しています。 ・「スポーツをとおして就労に適した体作りができる事業所」をスローガンに掲げ、特別支援学校におけるスポーツ活動によって培った身体能力を最大限に活かし、障害者スポーツ大会や市民マラソン大会等への参加など、スポーツシーンでの「活躍の舞台」を提供することで利用者の社会参加を推進しています。 ・平内町から放課後こども教室事業を受託し、地域のこどもたちと利用者との交流の場をつくとともに、子育て世代の保護者の就労環境を維持する一助を担います。	

居室概要	居室以外の施設整備の概要								
	多目的室、利用者用更衣室、利用者用トイレ								
	訓練・作業室、食堂、休憩室								
	体育館								
職員の配置									
職 種	人 数				職 種				
所長	1	常勤	0	非常勤	運転員	0	常勤	5	非常勤
副主任支援員	1	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
支援員	4	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
事務員	2	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
調理員	0	常勤	3	非常勤		0	常勤	0	非常勤
労務員	0	常勤	1	非常勤		0	常勤	0	非常勤

## 2 評価結果総評

### ◎特に評価の高い点

- 1 所長は、福祉サービスの質の向上に意欲をもち、リーダーシップを発揮しています。**  
 所長は、福祉サービス第三者評価基準の考え方を基に、サービスの質の向上に意欲をもち、組織としての取組に十分な指導力を発揮しています。その結果、所内で定期的開催される会議のほか、日常的に職員からの意見を吸い上げられるような環境が、構築されています。  
 会議等で協議された内容については、周知を図り、迅速な対応もしています。
- 2 地域との関係が適切に確保されています。**  
 理念、基本方針に地域との関わりについて明文化されているほか、積極的に地域住民と交流の機会を確保するための方策を打ち出し、実践しています。  
 また、地域住民との交流を図りながら、法人、事業所の考え方などを説明し、地域の意見やニーズの把握にも努めています。
- 3 地域の福祉向上のための取組を行っています。**  
 小学校として使われていた校舎を利用することで、体育館、グラウンド等、地域住民が気軽に利用できる仕組みも構築しています。  
 特に放課後の時間帯に、幼児から小学生まで預かる「ひらないすこやか教室」については、地域住民のニーズを形にしたものであり、事業所の様々な取組が実を結んだ成果として評価できます。

### ◎改善を求められる点

調査の結果、改善を求めるべき点はありませんでした。  
 なお、今後期待される取組として、次の2点を提案させていただきます。

- 1 福祉サービスの標準的な実施方法について、見直しをする仕組みの確立に期待します。**  
 利用者が必要とする福祉サービス内容の新たな知識・技術等の導入を踏まえ、定期的に検証し、必要な見直しを行ってみたいかがでしょうか。標準的な実施方法を定期的に見直すことで、福祉サービスの質に関する職員の共通認識を育てるとともに、PDCAサイクルによって、質に関する検討を組織として継続的に行える仕組みが構築されることに期待します。
- 2 次期中期計画の策定については、より具体的な内容を盛り込んではいかがでしょうか。**  
 現中期計画における年次計画項目では数値目標を明記しており、単年度ごとの実施状況の評価についても可能なものとなっています。次期中期計画では、収支計画の策定や課題の解決・改善に向けて、より具体的な内容となることを期待します。

### 3 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審するにあたり、これまでガイドラインに基づいて具体的な取り組みを実行してきました。当事業所の自己評価よりも概ね上回る第三者評価だと感じました。今後もよりよい事業所となるために具体的な改善を実行します。

評価機関	名 称	公益社団法人 青森県社会福祉士会
	所 在 地	青森市中央3丁目20番30号
	事業所との契約日	令和元年6月26日
	評価実施期間	令和元年6月26日～9月3日
	事業所への 調査結果の報告	令和元年10月2日

## 第三評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念及び基本方針は、事業計画書、広報誌、パンフレット、ホームページ等に掲載され、職員室及び利用者用多目的ホールに掲示しています。特長的なのは、就労系事業所として理念に「働く喜び」を謳っていることです。それら事業所の「思い」については、事業計画概要版に記載し利用者や家族に配布しているほか、職員には会議において内容を説明しています。また、職員会議の次第裏面には、理念及び基本方針を印刷し、継続的に周知に取り組んでいます。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全国障害施設長会議に出席し、社会福祉事業全体の動向の把握に努めているほか、青森県、青森市及び平内町の福祉計画の策定動向についても情報収集が行われています。</p> <p>また、毎月初め、前月までの利用者数及び利用率を分析し、月次報告書と併せて今後の補正予算の必要性について確認しています。</p> <p>所長は、収集された情報を分析し、良質かつ安心・安全な福祉サービスを提供するために、その実施内容の可否について、サービス管理責任者等と検討しています。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年度、組織体制等について「組織構成要望書」を作成し、理事長も含めたヒアリングが実施されています。その中では、職員体制や財務状況の分析を踏まえた上での具体的な課題や問</p>		

題点も明らかにしています。

職員にも毎月の利用者数及び利用率についての情報を共有する仕組みが整備されており、前月の実績を分析し、今後の目標達成のためには具体的に何を努力すればよいか可視化できるようにしています。

また、補正予算編成時には、全職員に補正理由を説明し、事業所の経営状態を共有化して具体的な取組も実施されています。

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>青森県すこやか福祉事業団中期計画（平成27年度～平成31年度）（以下、「中期計画」という。）において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確に示しています。その中には、運営状況、検討課題についても記載されています。</p> <p>また、年次計画の項目では数値目標を明記しており、単年度ごとの実施状況の評価についても可能なものとなっています。</p> <p>次期中期計画では、収支計画の策定及び、課題の解決・改善に向けた、より具体的な内容となることを期待します。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度の事業計画は、中期計画を反映して具体的に策定されています。理念、基本方針、運営方針等を記載しているほか、重点項目では、評価可能な数値目標が掲げられています。</p> <p>次年度の単年度事業計画作成時には、次期中期の収支計画策定に併せて整合性のある計画を試みてはいかがでしょうか。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「中期計画及び単年度事業計画の策定、評価及び見直しの手順（令和元年5月8日）」に基づき、事業計画の実施状況の把握、評価及び見直しが行われています。</p> <p>事業計画の素案は所長が作成し、職員会議において意見集約されていました。</p> <p>今後は、職員に策定された事業計画の理解を促すため、年度末理事会終了直近の会議及び人事異動があった場合は年度当初の会議において配布するとのことでした。次年度以降、職員への周知がより進む取組に期待できます。</p>		

7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者及び保護者が見やすいようにルビをふり、写真を掲載した「概要版」を作成し配布しています。また、毎年4月には保護者懇談会を開催して、事業計画の主な内容の周知、説明がされています。</p> <p>今後は、事業計画策定段階において利用者の参画を検討しているとのことでした。保護者等への周知、理解の促進も期待できます。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>今回、福祉サービス第三者評価を受審するのは始めてですが、年1回自己評価を実施しています。自己評価結果は、法人事務局へ提出し理事会に報告されています。また、次年度の事業計画策定時に、改善を要する点について改善策を明記しています。</p> <p>福祉サービスの質の向上に関する取組は実施されていますが、「現段階では、職員に評価項目の理解を促している段階」ということでした。全職員の周知、理解が進み、組織的なPDCAサイクルに基づく取組となるよう期待します。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>評価結果には、改善を要する点の明記をしています。また、その報告については、文書を理事会まで提出し、課題の共有化も図られています。</p> <p>昨年度までは、課題を共有した後の具体的な対策が不十分だったようで、今年度は月1回、質の向上推進会議を開催し、具体的な対応策を講じる取組が実施されています。</p> <p>今後、策定された改善策や改善計画を実施し、必要に応じた見直しが行われることを期待します。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉑・b・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図るために、「就労サポートセンターさつきの経営管理に関する方針（令和元年5月8日）」を配布しています。また、保護者に対しても「就労サポートセンターさつきが目指す姿及び私の役割と責任について（平成31年4月20日）」を配布し説明しているほか、広報紙「でんでん」にも掲載しています。</p> <p>事務分担表には、所長、副主任支援員、支援員、事務員等の役割が明記されており、会議において周知されています。</p> <p>危機管理マニュアルについても、所長不在時に対応できる形で整備されているほか、緊急連絡網を作成し職員に配布し周知されていました。</p>		
11	<p>II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p>	<p>㉠・b・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業団例規集及びセンター内規集の整備保管場所を明確にしています。また、各種業者とは適切な関係を保持するために、経理規程等に基づいた予算の執行等が行われています。</p> <p>所長は、遵守すべき法令等を正しく理解するために積極的に全国施設長会議等に出席し、行政説明による情報収集や虐待防止法等の法改正に関する研修を受講しています。さらに、青森県による実地指導監査に使用する自主点検表には、福祉関連法以外に、事業所を運営する上で必要な他の法律も記載し、その遵守・点検に努めています。</p> <p>毎月の会議では「遵守すべき法令」の項目を設け、所長が法人内外を問わず定められた法令を説明する取組も行われています。</p>		
<p>II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	<p>II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	<p>㉠・b・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>令和元年度から3年に1回は第三者評価を受審することとしたほか、毎年自己評価を実施しています。</p> <p>毎月1回、所長も参画し「質の向上推進会議」を開催し、職員教育の実施、福祉サービスの質に関する課題の把握・改善のための具体的な取組、職員の意見を反映するための具体的な取組等協議し、福祉サービスの質の向上を図っています。</p> <p>事務分担表には、質の向上について具体的な体制も明記されています。</p>		
13	<p>II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>㉠・b・c</p>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は、毎年度秋に作成する次年度の組織構造要望書において、人事、労務、財務等を踏まえて分析し、次年度の経営改善や業務の実効性の向上に努めています。また、短時間勤務者である運転専用職員を採用するなど、職員の時間外勤務削減に取り組んで成果を挙げています。</p> <p>所長は、可能な限り作業現場に入り、作業の効率性の向上を提案しているだけでなく、月2回の事業所会議には、作業現場で支援している職員の意見を聞き、改善策を提案しています。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「福祉人材の確保等に関する方針及び計画について（令和元年6月12日）」を明示配布しているほか、人員数の目標値を定め周知しています。</p> <p>計画に基づいた人材の確保や育成については、昨今の福祉人材不足もあり難しい状況ではありますが、法人キャリア支援課における高卒求人や農業高校生へのPR、所長が同行しての採用活動の実施等、目標達成に向けた取組が行われています。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人において、人事評価実施要綱が定められています。また、期待する職員像も文書化され、職員に配布をし、周知を図っています。</p> <p>定められた基準に基づき、職員が記載する自己申告書及び所長が記載する総括表において、専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価しています。</p> <p>さらに、法人において経営コンサルタントによる処遇水準の評価分析を実施しており、面談や自己申告書により、意向や意見を把握し、改善が必要な場合は、所長が会議に提案しています。</p> <p>面談シートによる面談やキャリア面談により、自ら将来の姿を描くことができるような仕組みも構築されています。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務員は、毎月の時間外勤務時間を集計比較し、特定職員への業務の偏りを迅速に把握しているほか、年次有給休暇取得状況についても毎月集計し、計画付与が法令を遵守しているか確認をしています。</p> <p>副主任支援員は、勤務表作成前に各職員から休暇希望日を聴き取りし、意向を把握しています。</p> <p>職員の心身の健康と安全の確保のため、ハラスメント受付窓口を設置しているほか、毎年12月に事業所負担で予防接種も実施しています。また、所属長は、年3回個人面談を実施しており、キャリアカウンセラーによるキャリア面接も実施しています。</p> <p>個人面談により把握したニーズに基づき、所長が積極的に送迎業務に入る、短時間雇用の非常勤運転員を採用等、時間外勤務の削減への成果がみられます。</p> <p>総合的な福利厚生への取組としては、法人全体でソウェルクラブに加盟しているほか、組織の魅力を高める取組として、法人全体でクラブ活動を奨励し、業務以外で職員の得意な分野を發揮できる仕組みを構築しています。</p>		



Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>期待される人材像を文書化したものを配布し、面談シートにより目標管理できるような仕組みが構築されています。また、面談シートには法人の期待する人材像を明記しているほか、事業所の理念を自署する様式となっています。</p> <p>面談シートの様式は「現在の課題等を踏まえた今年度の目標」「目標を達成するために必要な研修及び業務内外における努力等の計画」「目標達成のための計画の進捗状況」「目標の達成度合い及び次年度の目標」となっており、年度当初、中間、年度末に所長と面接を実施しています。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部において、階層別、専門分野別の研修が実施されています。また、事業所としても現場での業務に必要な内容を中心に、教育・研修が実施されています。</p> <p>今後は、福祉サービスの質の向上に対する取組の一環として、関連性・継続性のある中長期的な研修会の開催や外部研修への参加、職員の知識・技術、専門資格の取得等について、組織として具体的な目標を設定してみたいかがでしょうか。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>所長は、職員一人ひとりの知識、技術水準、専門資格の取得状況を所定の様式や面談により把握しています。よって、事務局キャリア支援課が企画する階層別研修、外部からの研修案内等、会議において参加を推奨することができます。また、職員が研修に参加する場合は、支援現場において他職員を交代で配置しています。</p> <p>なお、法人全体でエルダー制度を導入しており、新任職員が採用された場合は、エルダーがOJTを実施しています。</p> <p>今後は、研修成果の評価・分析が、次の研修計画に反映されているかどうかを、継続した記録等の資料で確認できるような取組をしてみたいかがでしょうか。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生取扱要領及びマニュアルを定め、福祉サービスに関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化しています。</p> <p>効果的な研修・育成のための取組として、専門職種の特性に配慮したプログラムの用意、実習指導担当者への研修の実施を検討してみたいかがでしょうか。</p>		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念、基本方針、提供する福祉サービスの内容、事業計画、事業報告、苦情等受付・解決状況、予算及び決算はホームページで確認できます。</p> <p>また、地域の福祉向上のための取組として、地域住民と交流を図る大運動会及び大収穫祭の開催、地域の福祉ニーズを把握するための意見交換会を実施しています。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㉡・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経理規程等のルールは常に閲覧できる状態であり、内容についても職員会議の中で説明をしています。</p> <p>経理事務は、事務分担表において事務員に分担しています。物品購入時の手続きについても、引継ぎの際など、随時、指導がされています。</p> <p>高度な経理事務については、監事監査の際、税理士に相談しているほか、毎年度内部監査も実施しています。また、監事監査の際、監事の業務量を補うため、外部の税理士も参加しており監査、指摘事項等があれば速やかに改善をしています。</p> <p>今後は、事業、財務に関する外部監査の活用について検討してみたいかでしょうか。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念において「地域社会と協調し」、基本方針において「地域の伝統や産業と強調して地域活性化に貢献します」と明示しているほか、玄関エントランスに自由に閲覧できる小冊子を置く場所を設置し、社会資源や地域の情報を提供しています。</p> <p>また、定期的に地域の人々と利用者との交流の機会を確保するために、地域住民を招待しての大運動会、大収穫祭、地域の清掃ボランティア、地引き網交流イベント等を実施しています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉡・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティア受入れマニュアルを作成し、基本姿勢を明文化しています。また、地域の学校の社会科見学に協力する旨を事業計画に明文化しており、今年度、地域の小学校の受入れが予定されています。</p> <p>ボランティアの受入れ時、思いがけないトラブルや事故を防ぐためにも、ボランティアへの研修と、そのことについてのマニュアル化を検討してみたいかがでしょうか。</p>		
<p>II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個々の利用者の状況に対応できる当該地域の関係機関・団体について、職員室にはリスト化したものを掲示しており、利用者には小冊子で各種障害者団体が発行する情報誌を自由に閲覧できるようにしています。</p> <p>利用者のケース検討会は、相談支援事業所と定期的実施しています。また、青森地区障害者就労支援連絡会（アップルワーク）等、東青圏域の障害者就労関係の連絡会にも参加しています。</p>		
<p>II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設の特徴を活かして、地域のサッカー教室や剣道の稽古場として体育館を貸し出しています。また、町が主催するマラソン大会の会場として体育館を貸し出し、地域の活性化に貢献しています。</p> <p>災害時は事業所そのものが地域の避難場所となっており、町役場が水や発電機、毛布を事業所に保管しています。</p> <p>地域住民等を招待した大運動会、大収穫祭も企画されています。その企画により、利用者と住民は、交流を図る機会を確保され、また、住民と職員との意見交換会も実施できています</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉠・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所で地域住民と意見交換会を開催することで、地域の福祉ニーズの把握に努めています。</p> <p>地域の福祉ニーズに基づいて開始したこども教室事業の試行が、町の委託事業として実施に結びつきました。その後、毎年事業計画に明示して実施しています。</p> <p>事業所単体では、多様な相談に応じる受け皿や体制はできていませんが、法人全体で連携を図ることによって、地域住民の相談に乗ることはできています。</p> <p>今後、意見交換会に関係機関、民生委員・児童委員等を招くなど、具体的な福祉ニーズをより深く把握するための方策を検討してみたいかがでしょうか。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念及び基本方針には、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示しており、その「思い」についても年度当初の会議において説明されています。また、法人で倫理綱領を策定し、毎朝、読み合わせをしています。</p> <p>虐待に関して、毎年職員を研修に派遣しているほか、セルフチェックを実施し、定期的な状況の把握、評価を行っています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待防止対応規程を制定しており、毎年度、セルフチェックを実施しています。また、希望者には、更衣ロッカーの鍵を渡す、写真撮影等の同意の有無を確認するなどのプライバシーにも配慮しています。</p> <p>個人情報保護規程を制定してるようですので、より利用者のプライバシーを保護する観点からの規程、マニュアル等を策定し、取り組まれることに期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページによる情報提供、写真を多く活用したわかりやすいパンフレットの作成、ねむのき会館へのパンフレット設置等、利用希望者が福祉サービスを選択するために必要な情報を積極的に提供しています。</p> <p>また、見学等の全面的な受入、利用希望者（特に養護学校実習生）に対して、保護者や先生も含めたていねいな説明等、日常的な取組についても実施されています。</p> <p>今後は、利用希望者に対する情報提供の定期的な見直しの機会を設けてみてはいかがでしょうか。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>サービスの開始・変更にあたり、ふりがなを入れた資料を用いて説明し、法令に基づいた利用手続きを実施しています。また、説明と同意にあたり、利用者の自己決定を尊重しています。</p> <p>意思決定が困難な利用者への配慮について、自己決定を尊重する旨の明文化、成年後見制度の利用を含めるなど、ルール化された説明、運用が図られることに期待します。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用終了後の相談等については、サービス管理責任者が対応をしています。</p> <p>福祉サービスの継続性に配慮した文書を定めているので、利用終了後の相談等についても、ネットワークや支援体制について記載された文書を定め、窓口を設置していることの周知を図ってみたいはいかがでしょうか。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者満足の上昇を目的とする調査を実施しています。</p> <p>利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもとで検討会議の設置を行うことなどの検討をしてみたいはいかがでしょうか。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>これまで苦情の実績はないようですが、ご意見箱の設置や第三者委員と話す機会を設けるなど、苦情解決の体制が整備されており、苦情を解決する仕組みもわかりやすく掲示されていました。また、それらの資料を利用者等に配布し、説明も行われています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者には、毎月、第三者委員と話す機会を設けているほか、ケース担当職員や作業担当職員に相談、意見を伝えられることについて説明をしています。</p> <p>利用者の相談、意見に関する取組について、利用者や家族等に十分に周知されているかどうか、また、述べやすい環境になっているかを検証する機会が確保されていないとのことでしたので、今後、検討の場を設けてみたいはいかがでしょうか。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、日々の福祉サービスの提供において、利用者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めています。</p> <p>これまで以上に利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応していくためにも、苦情解決同様の対応マニュアル策定等の検討を期待します。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>リスクマネジメント実施要綱の制定、リスクマネジメントに関する責任者の明確化等、体制は整備されています。また、毎月の職員会議において、ヒヤリハット報告に基づいた再発防止策を協議し、共有しています。</p> <p>今後は、安全確保に関する研修の実施や、事故防止策等の実施状況及び実効性について、定期的に評価・見直しを行ってみたいかがでしょうか。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底しているほか、責任と役割を明確にした管理体制も整備されています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時は、事業所そのものが地域の避難場所となっており、町役場が水や発電機、毛布等を事業所に保管しています。また、災害時の対応体制も決められています。</p> <p>安全対策については、全般的に見直す必要があるとのことでしたので、今後の取組に期待します。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>提供する福祉サービスについて、標準的な実施方法が文書化されています。</p> <p>標準的な実施方法について研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策、標準的な実施方法に基づいてサービスが実施されているかどうかを確認する仕組み作りに期待します。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しについて、その仕組みの確立を検討してみたいかがでしょうか。また、確立した後に、PDCAサイクルによって実施されることを期待します。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画策定の責任者を設置し、アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されています。また、個別支援計画には、利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されており、計画どおりに福祉サービスが行われていることを確認する仕組みが構築され、機能しています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施しています。</p> <p>計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、福祉サービスを十分に提供できていない内容（ニーズ）等、福祉サービスの質の向上に関わる課題等が明示できるような取組に期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の身体状況や生活状況等を、事業所が定めた統一した様式によって把握し記録しています。また、パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されています。</p> <p>記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の検討をしてみたいかがでしょうか。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・㉒・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報保護規程等により、利用者の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供について規定し、職員への周知を図っています。また、個人情報の取扱いについて、利用者や家族も説明しています。</p> <p>記録管理についての教育が不十分ということでしたので、内部研修の実施を検討してみたいかがでしょうか</p>		